



# 高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



## 年次総会開催される

### 次々年度会長の発表



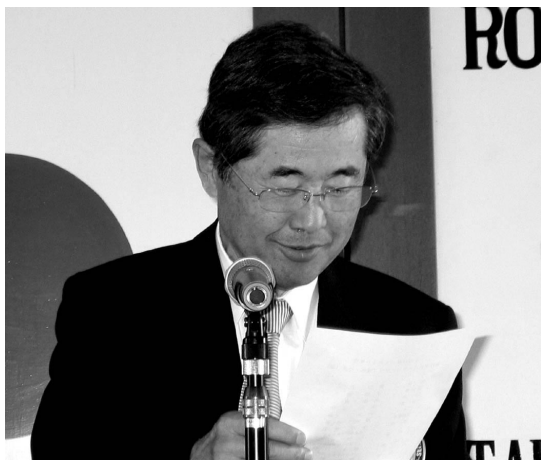
田水選考委員長

### 2010年度会長あいさつ



伊藤 勝之さん

### 次年度理事・役員を決定



菱田次年度会長

### 次年度理事・役員顔ぶれ

役目	氏名	役目	氏名
会長	菱田 克己	直前会長	鹿間 行雄
副会長	伊藤 勝之	理事	辻田 重恵 (職業奉仕委員会担当)
幹事	竹原 俊三	理事	佐野 栄作 (社会奉仕委員会担当)
会計	志方 正昭	理事	都倉 達殊 (新世代委員会担当)
S.A.A.	内海 薫	理事	青木 裕加 (国際奉仕委員会担当)

## 上期事業報告(その2)



ロータリー財団委員会  
伊藤 勝之



増強・職業分類委員会  
都倉 達殊



クラブ会報委員会  
菊地 敬子



プログラム委員会  
中右 和宏



会員選考委員会  
小西 文孝



雑誌・広報委員会  
渡辺 弥生



ロータリー情報委員会  
増田耕太郎



記録委員会  
中谷 利幸



President

## 会長の時間

本日は、クラブ定款第6条第2節の規定に基づく年次総会となっております。ロータリー・クラブにおいては、理事会の決定が最終であると先輩から教えられて参りました。

そこで、年次総会を機に理事会と総会との役割分担について整理してみたいと思います。総会と表現されているのは、年次総会のみとなっております。その他の全会員による決議機関は、例会と表現されております。決議のための例会は、臨時総会と考えて差し支えないと思います。

さて、理事会は、クラブの管理主体であり、全役員及び全委員会に対して総合的な支配力を持ち、その罷免権さえも持っております。そして、クラブのあらゆる事項に関する理事会の決定は、最終であります。

(クラブ定款第10条)

但し、次の例外があります。

年次総会における役員・理事の選挙(クラブ定款第6条)

理事会決定を例会の3分の2多数により覆すとき

(クラブ定款第10条)

定款・細則の変更(クラブ定款第19条、クラブ細則第16条)

以上によりまして、理事会決定が絶対ではありませんが、上記3点に関してのみ例外的に総会( )については例会)が優先することになっております。



### プログラム予定

12月17日(水)	12月23日(火)	12月31日(水)	1月7日(水)
卓話 廣瀬 明正 会員	新世代会議 於:高砂市青年の家 体育館 【新世代委員会担当】	休会 【定款第6条第1節(c)による】	休会 【定款第6条第1節(c)による】





Secretary

## 幹事報告

### 第21回 通算1385回

#### 1. 回覧その他

国際ロータリー2640・2650・2660・2680  
地区ローターアクト2008-2009年度4地区  
区合同情報交換交流会開催のお知らせが  
届いております。

2009年1月25日(日)13:00  
～

於：からすま京都ホテル

第2回全国RYLA研究会のご案内が届  
いております。

2009年2月7日(土)10:00～

於：グランドプリンスホテル新高輪

ザ・ロータリアン誌が届いております。

日本ロータリー親睦ゴルフ全国大会のご  
案内が届いております。

2009年3月16日(月)

於：琉球ゴルフ倶楽部

日本UNHCR協会より募金のお願いが  
届いております。

日本UNICEF協会より募金のお願い  
が届いております。

ひょうご子どもと家庭福祉財団より会報  
が届いております。

赤十字血液センターより献血状況が届  
いております。



Donation

## ニコニコ報告

志方 正昭・大橋 卓司

王彩麗さん、ようこそ!

竹原 俊三・鹿間 行雄

上期事業報告・後半の説明宜しくお願  
いします。

松尾 毅

無事に帰国しました。

柿木 國夫・井野 隆弘

花を飾りましょう。

## 花を飾ろう

X'mas アレンジ



菊地 敬子


 Neighbor-club information 近隣クラブINFORMATION

クラブ名	変更内容	日時・場所
加古川ロータリークラブ	祝日のため休会	12/23(火)
"	休会(定款第6条第1節cによる)	12/30(火)
明石西ロータリークラブ	クリスマス家族会のため	12/18(木) 12/20(土)移動例会
"	休会(定款第6条第1節cによる)	12/25(木)
"	祝日のため休会	1/1(木)
明石ロータリークラブ	親睦家族例会のため	12/17(水)移動例会
"	休会(定款第6条第1節cによる)	12/31(水)
加古川中央ロータリークラブ	年末家族例会のため	12/18(木)移動例会
"	休会(定款第6条第1節cによる)	12/25(木)
加古川平成ロータリークラブ	休会(定款第6条第1節cによる)	12/31(水)
姫路南ロータリークラブ	休会(定款第6条第1節cによる)	12/29(月)
高砂ロータリークラブ	高砂青松R.C.との合同例会 新世代会議のため	12/26(金)
"	休会(定款第6条第1節cによる)	1/2(金)
加古川中央ロータリークラブ	祝日のため休会	1/1(木)

### 例会記録 2008. 12. 10(水)通算1461回

ソング 「奉仕の理想」「歓迎歌」

四つのテスト 井野 隆弘 副S.A.A.

本日のゲスト 米山奨学生 王 彩麗さん

出席報告 11月26日 会員数 52名 欠席者 6名 出席率 88.46% <修正による>  
(この内出席免除者9名)  
12月10日 会員数 52名 欠席者 10名 出席率 80.77%  
(この内出席免除者9名)

### 直良 信夫 (なおら・のぶお)

### 「明石人骨」の発見者

「詐欺師だ」「山師に違いない」「にせものだろう」－。あらゆる非難・中傷がその身にふりかかった。世紀の大発見の偉業を達成した者へ、なんとも冷酷な仕打ちではないか。

直龍信夫が化石化した腰骨を発見したのは昭和6(1931)年のこと。場所は西八木海岸(明石市大久保町八木)だった。「三、四十万年前の人体の骨盤現る 日本では最初の発見」。大阪朝日新聞が大々的にそう報じたのは、発見から半月後。波乱の生涯の幕開けでもあった。

信夫は明治35(1902)年、大分県白杵市で貧しい農家・村本家の8人兄弟の二男として生まれた。少年時代から暇さえあれば本を読む勉強家。12歳の時、恩師を頼って上京し、苦学のすえに大正9(1920)年、農商務省臨時研究所に就職した。

考古学の論文を発表するなど順調な人生を歩んでいた信夫は、過労で結核を患い退職。静養のため帰郷の途中、姫路で下車し白杵時代のマドンナ的存在の女性教師・直良音と再会を果たし、結婚。姓を村本から夫人側の直良に改めた。明石に居を構え「直良石器時代文化研究所」を設立し、療養のかたわら考古学の研究に打ち込んだ。

その成果が西八木海岸での腰骨発見となった。そこで東京帝国大学に鑑定を依頼したところ、十分な検証が得られないまま送り返される始末。当時の日本の考古学は、日本に旧石器時代はないとされていた時代。学閥もない在野の研究者の発見は完全に無視されたのだ。かくして、いわれなき非難を浴びることになる。肝心の人骨も東京大空襲で消失した。

ところが、捨てる神あれば、拾う神あり－。昭和22(1947)年、東京帝国大学の長谷部言人博士が残された石膏模型と写真から明石の人骨は原人級のもので「ニッポナントロプス・アカシエンシス」と命名。再び脚光を浴びることになる。

その後も反論が飛び出すなど、学閥のなかで翻弄されながらも多くの遺跡を発見、調査し、昭和35年には早稲田大学の教授に。「日本旧石器時代の研究」など多くの著書がある。

(主な参考文献＝ビジュアルブックス編集委員会・編「時代のパイオニアたち」神戸新聞総合出版センター)

